

人権・平和・環境などの地球的課題がテーマの参加型学習。特に日本と世界とのつながりを「持続可能な開発」をキーワードに考える。

「多みんぞくニホン」を生きる

～在日コリアンとベトナム難民～



『身近なことから世界と私を考える授業Ⅱ』を体験しよう！

日本には外国につながりを持つたくさんの方が暮らしています。そして、その異なった文化を持つ人と人との関係性の上に、私たちのくらしは成り立っています。この回では、『身近なことから世界と私を考える授業Ⅱ』（明石書店）から「多みんぞくニホン」を紹介します。難民として日本にいられた方を招いて、日本社会の問題点を探り、共生社会のあり方をともに考えましょう。

講師： 山中信幸、織田雪江、丸山まり子（開発教育研究会）

日時： 2012年 11月 10日(土) 16:00 ~ 11日(日) 12:00

場所： 関西セミナーハウス

・裏面地図をご参照ください。

京都市左京区一乗寺竹ノ内町 23 電話：075-711-2115

参加費： 10,500 円（1泊2食込み） ・部分参加については事務局にお問合せ下さい。

* 開発教育セミナーの趣旨より、宿泊は原則的に2～3名の相部屋となっておりますが、部屋割りに対するご要望のある方はお問い合わせください。

* FAX(裏面書式)、電話、電子メール等でお申し込みください。HPからも申し込みます。(着信確認をお送りします。)

* 申込締切：11月 7日(水)、または定員30名に達し次第。(締切日以降は、電話でお問い合わせください。)

* 前日正午以降の取り消し、ご変更は、キャンセル料がかかることがあります。

『身近なことから世界と私を考える授業Ⅱーオキナワ 多みんぞくニホン 核と温暖化』（明石書店）

＜オキナワ＞ 琉球文化が息づく沖縄は、日本領とされて第二次世界大戦の激戦に巻き込まれ、いまだ基地被害に苦しんでいます。沖縄をめぐる問題を、私たち自身の問題とするのがねらいです。修学旅行の事前学習、平和学習として有効です。

＜多みんぞくニホン＞ 多文化化が進む日本社会には、異文化間のギャップやジレンマが生み出す様々な問題があります。この古くて新しい問題の解決に向けて、在日コリアンやベトナム難民のくらしに向き合うことから私たちに何ができるかを考えます。

＜核と温暖化＞ マーシャル諸島共和国は、戦前は日本の植民地、戦後はアメリカの核実験場、現在は海面上昇の危機にあります。ビキニ事件と福島原発事故をつなぎ、核＝原子力の人権侵害に気づくとともに、その先の新たなくらしを考えます。

◎ セミナー当日のタイムテーブル

- 【1日目】 15:30 ~ 受付
 16:00 ~ セッション1 「『多みんぞくニホン』を感じよう」
 ・アイスブレーキング
 ・クイズで考える多文化社会～言葉や文字・数字から～
 18:00 ~ 夕食
 19:00 ~ セッション2 「在日コリアンから考える多文化社会」
 ・歴史と権利回復の道筋を学ぶ
 ・アクティビティ「あのとき何があったの？」
 「一歩前に進め」
 21:00 ~ 交流会
- 【2日目】 8:00 ~ 朝食
 9:00 ~ セッション3 「難民と考える多文化社会」
 ・アクティビティ「ビン君に何が起きたのか」
 ・お話 グエン バン トウインさん
 12:00 終了予定

◇ 2012年度 開発教育セミナー

第6回 12月8日(土)～9日(日)

「日本に基地はもういらない!?～沖縄を太平洋の要石から平和を展望する拠点へ～」

講師：豊下 檜彦さん(関西学院大学法学部教授)

(財)日本クリスチャン・アカデミー
 関西セミナーハウス活動センター
<http://www.academy-kansai.org>

〒606-8134 京都市左京区一乗寺竹ノ内町 23

電話 075-711-2117

FAX 075-701-5256

Eメール office@academy-kansai.org

所長代行 榎本 栄次

担当 都木かおり



[第5回 開発教育セミナー申込書]

* 地下鉄の最寄駅は松ヶ崎駅ですが、タクシーは北山駅(出口②)が拾いやすいです。

| | |
|--------|-------------|
| (フリガナ) | |
| 名 前 | (男・女) 所 属 |
| 住所〒 | |
| 電話 () | — FAX () — |
| 電子メール: | @ |
| 通信欄 | |